

単位数	教科担当者	使用教科書・補助教材・その他
2	谷口理恵	美術 I (光村図書出版)
必修 学校必修 ○必修選択 自由選択		

## ◆学習の目標

- ・美術の作品制作活動を通して、美的体験と愛好する心情を豊かにし、感性高め、創造的な表現を養う。
- ・想像や観察に基づいて、自らの主題を表現する能力を育て、作品制作の基礎を身につける。
- ・鑑賞の意欲、能力を育てる。

## ◆主な学習内容・方法

- |               |                  |
|---------------|------------------|
| (1) 素描による静物表現 | (5) 風景画制作        |
| (2) デザインの学習   | (6) 紙素材による立体作品制作 |
| (3) 色彩学習      | (7) 鑑賞           |
| (4) 日本美術文化の学習 |                  |

## ◆到達目標と評価の観点

- ・ 関心・意欲・態度：美術を愛好し、表現の主題などに幅広く関心を持ち、意欲的、主体的に表現や鑑賞を行い、その喜びを味わおうとする。
- ・ 芸術的な感受や表現の工夫：感性を働かせ、美術の美しさやよさを感じ取り、豊かに発想し、創造的な表現を工夫する。
- ・ 創造的な表現の技能：材料・用具を活用して表現する技能を身に付けている。
- ・ 鑑賞の能力：作者の意図や心情や表現の工夫を学び、そのよさや美しさを創造的に味わう。

## ◆評価の方法

- ・ 上記の観点について、授業態度、出席状況、制作過程や作品・レポートなどの提出物の内容、鑑賞時の意見など年間を通して総合的に判断して、評価を行う。

## ◆年間予定授業時間

予定時数	70時間	1学期 (26時間)	2学期 (28時間)	3学期 (16時間)
------	------	------------	------------	------------

## ◆学習のしかた (予習・復習・宿題・課題・その他)

- ・ イメージやアイデアは常日頃から考え、課題に関する資料や情報などは事前に集めて、授業中は制作に集中するように努める。
- ・ 課題は丁寧に制作し、完成して期限までに提出する。
- ・ 授業で使う個人の用具は、各自で用意する。

## ◆授業計画

学期	月	単元・教材等	単元ごとの時間数	学習の内容	注意すべきこと
1 学期	4	静物デッサン 「身近な物を描く」	10	鉛筆デッサンの技法 道具の使い方とその効果	道具の取り扱いに 留意  制作に必要な物の 用意
	5	鑑賞	2	生徒作品の鑑賞	
			1	ルネサンス期の作品鑑賞	
	6	デザイン 「奥行きや広がりのある表現」	10	平面構成 三次元の不思議な世界の表現 透視図法、色彩学習、モダンテクニック等	
	7	鑑賞	2	生徒作品の鑑賞	
			1	シュルレアリズム期の作品鑑賞	
2 学期	8	日本美術	14	日本美術、伝統工芸品の理解 漫画やアニメーションと日本美術の関連	道具の取り扱いに 留意  制作に必要な物の 用意  校外スケッチ制作 に必要なものを用意
	9	木彫 「文箱制作」		図案、木彫技法、日本の伝統色	
		鑑賞	2	生徒作品の鑑賞	
	10		1	日本の絵画、彫刻等の作品鑑賞	
	11	絵画表現 「風景を描く」	8	校外制作 秋の神宮外苑銀杏並木	
		鑑賞	2	生徒作品鑑賞	
	12		1	印象派期の作品鑑賞	
3 学期	1	表現デザイン 「立体デザインカード」	13	紙を生かしたデザイン メッセージカードの制作	制作に必要な物の 用意
	2	鑑賞	2	生徒作品鑑賞	
	3		1	情報伝達のデザインの作品鑑賞	